

高木まり

Vol.9
2004.11

さいたま変革プロジェクトNEWS

民主党さいたま・市政レポート北区版

発行所:民主党さいたま市議会議員団 北区事務所:〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-279-6-202
TEL 048-654-2559 FAX 048-652-6445 メールtakagi@marit.jp

高木まり
さいたま市議会議員

1967年生まれ
東京大学法学部卒
東京銀行勤務
枝野幸男秘書を経て
2003年さいたま市議会議員初当選



高木まり
公式サイト

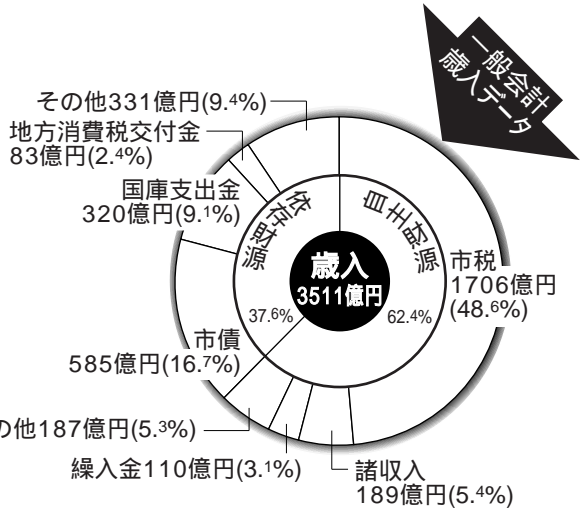
<http://www.marit.jp>

決算を重視して これからの市政をつくる

～政令市の可能性はまだまだ引き出せる～

9月議会では、今年から始まった議会改革の一環として、来年度予算の編成に生かせるよう、会期中に決算委員会を開催。高木は、民主党さいたま市議団の委員として質問に立ち、政令市1年目のさいたま市の決算を厳しくチェックしました。

民間会社で決算は今後の事業展開にとっても大切な数字。公でもしっかり決算の時期に振り返って、行政評価等も組み合わせながら、事業は十分に実施されたか、コストは適正だったか、やめるべき事業はないか、などを総括していく必要があります。



政令市移行を何とか乗り切った一年め

平成15年度は政令市スタートの年。県から委譲された膨大な量の新しい事務の執行は大変であったことが決算委員会の質疑の中でも明らかになりました。各部門で委譲事務について質問があり、それらがひとまず滞りなく執行されたとの報告がされました。

初年度で新事務の基礎固めができたようなので、次からは「では政令市の特性を生かして何ができるか」という挑戦に期待したいと思います。

子育て支援・高齢者施策は、更なる充実に期待

市長のかけ声「子育てするならさいたま市」に基づき、子育て関連に投資された額が伸びているのがわかります。しかし、まだまだ保育所の待機児童は減っていません。特別養護老人ホームも事情は同じ。更に覚悟を決めた予算配分を行っていくことが必要です。

平成15年の入所待機者

保育所 **230**人(4.1現在)
特別養護老人ホーム **1401**人(10.1現在)

子育て支援関連予算の推移(決算/保険・福祉・教育各部門の合計)

年度	H13	H14	H15
事業費(千円)	6,058,043	7,669,175	12,225,701

事業見直しはもっと厳しく

市の保養施設には管理費が収入の約4倍もかかっている施設(南郷ふるさとの家)があります。競輪事業では、1億円以上赤字補填が必要になっています。市からは明確な見直しの答弁が出されませんが、これらの数字は、その警告を生かして今後の市政運営をすることこそ求められているのではないのでしょうか。

